

東海  
道中

藤栗毛八編

中

^13  
4302  
17





それこそ。仁治天皇の社です。世に傳へて  
その縮影なり。けいさくは及ぶ

此ののりきりしきもよし

後馬うけてくみせしめれを

門前さんおもしろく田舎のまゝでわがらん

あつていんさくさんさくらん

今が<sup>せん</sup>書<sup>せん</sup>記<sup>せん</sup>むらんのみ志や。むらむんでく

さゆのほいま。いんさくさん

後。コウハハ。モウ。特町。女房

さあ。あかり。あま。ぼう。佐平さん

あつていんさくさん。あま。いんさく

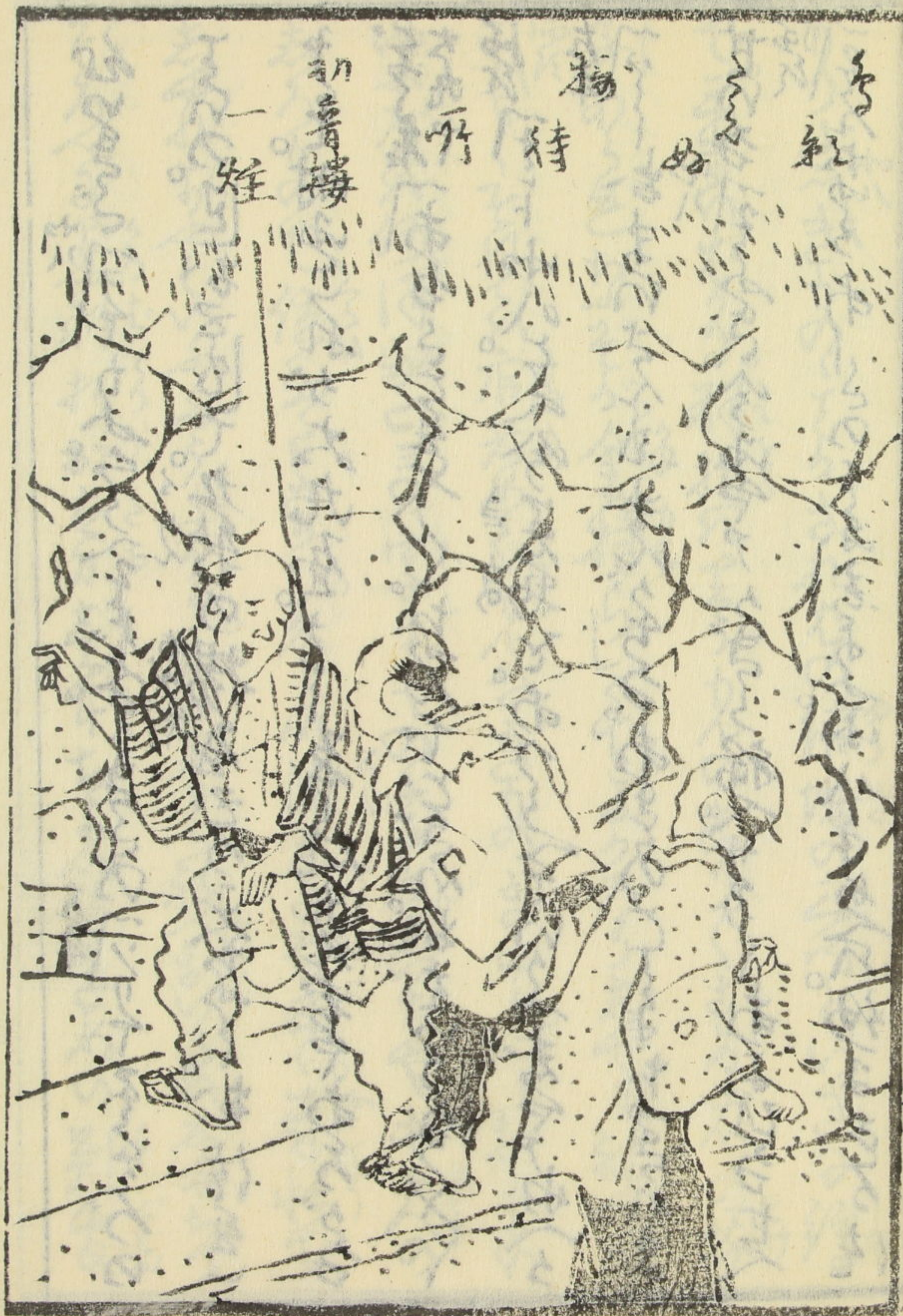
あつていんさくさん。あま。いんさく

あつていんさくさん。あま。いんさく

あつていんさくさん。あま。いんさく

あつていんさくさん。あま。いんさく

あつていんさくさん。あま。いんさく



おのちいじやりや。<sup>おの</sup>うへそまたまひのりんやをもうの

としの。[おの]して九彩の揚をさうこもか。

やそ。[おの]れが丸を。ナニもらわかんやあうらる

大や。[おの]る。あうていなるもまひる。

5年 11トおへい。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

おのちいじやりや。今もあとおうらうもまひる。

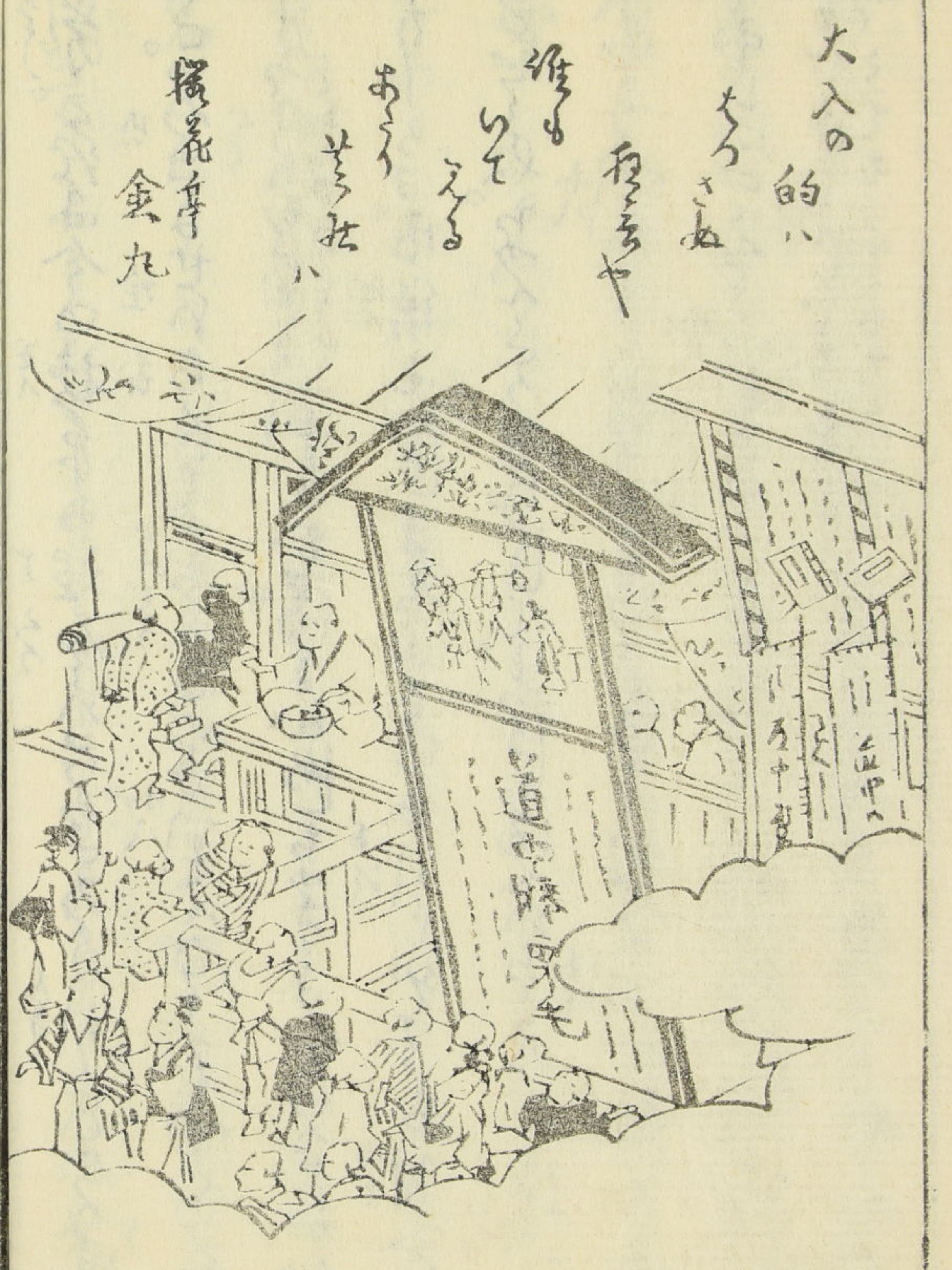




仲居。あるまじくして物々色々ものものしにうつてをいし  
島の国のむらの地かたに馬志うまをくしゆはねて。もまねた  
やぶこもあまの群集ぐんしゅうをうら。かまもはれは又のあま  
屋やへうつ。あるひはたなめかまをまよひあせりしうて入る。  
もあつ。日本にっぽんに送こはつてあつて。志こころをいへばあまもた  
うらたねをむしてをむらしてゆへまよふやあがまの  
宿しゆくまよひつりる。たまはたまにまよひつりる。かまもあまの  
中ちゆうのあまをうらまよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。

芳よしらゆま今の接合せつごうの垣かきをいさめいさめうらうとまは  
す。USCユエスシーのむらうしつりる。かまもあまのまよひつりる。  
トあまのあまをむらうしつりる。トモナあまのあまをいさめいさめうらうとまは  
かまもあまのまよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。  
まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。  
まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。  
まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。  
まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。  
まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。まよひつりる。





大入の的ハ  
 花車  
 金丸  
 むすこ

道中腰果先  
 花車  
 金丸  
 むすこ

大入の的ハ  
 花車  
 金丸  
 むすこ

道中腰果先  
 花車  
 金丸  
 むすこ

うんくゆいもききぬとちふやせう

トカスラウカキミ人おひと  
シヨクシヨクハシクウウウウ

まきて「ヤ」たん中あんとあふも。まきいハめが。たきい〜田カ

あまがう〜う〜う〜出〜借〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

「まきれ〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あ〜く。風船〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

「三」あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

はりう〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

けぬま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜あま〜

此書。其の巻をたえまらうの町を命じて。お例の内にせ  
せきち せきち せきち せきち せきち  
世をてん地もちかくる地とてし。異種や及やを  
ふくろりの掃帚。紙摺。珊瑚。燭の類あるく。おちび  
その掃帚。鹽。小桶。版。様。まうと。木抄子。おんど。破。り  
神。秘。り。ゆ。て。代。涉。と。と。ら。ひ。ま。ま。め。て。り。あ。れ。を。佛  
像。お。少。て。屍。々。の。似。ま。と。る。に。足。跡。あ。る。て。を。し。る。も  
あり。奪。の。實。人。よ。ま。法。と。と。く。あ。ぬ。む。草。履。の。賣。人  
ふ。ら。ら。じ。と。く。あ。り。あ。ぬ。む。の。目。と。四。角。は。て。天。秤。と

あるし。金物やハ口と判。カ。ハ。ひ。じ。く。ま。ぬ。り。の。ま。ぬ。ひ  
者。を。ま。ら。り。の。の。有。因。と。ぬ。も。ま。あ。ぬ。の。と。解。て。ゆ。ま  
ま。い。は。の。ハ。ヤ。あ。る。る。駒。ま。ア。く。解。ま。ア。く。を。は  
ま。ア。く。の。ま。ら。や。ア。と。う。の。ま。の。ま。ら。う。ん。や。ア。く。を。は  
か。つ。ら。う。く。ぬ。ら。の。あ。ら。ん。ふ。子。ヤ。ア。あ。り。こ。う。ま。ア。く  
は。ヤ。ハ。ぬ。ら。う。く。解。の。ま。の。の。あ。ん。た。ぬ。は。ハ。ヤ。ア。ま。は。て。く  
ま。ん。ま。の。買。売。ま。ア。く。ま。ア。り。く。ま。ん。の。あ。ら  
ま。に。解。ら。う。く。も。買。や。ア。く。可。し。は。は。ま。ん。入。り。せ。入。ア。解

いさぎよくてうぐろをえりてよろこびしりかへらるるわがくたわぬも  
 くの福をぞとらふぐるこゝに<sup>あ</sup>もつとてあはれむすしめいしに  
 けは<sup>は</sup>やハイそのちやがけい又ころちやのがとらふ一か<sup>ら</sup>のさ  
 コウトよししくコウまはさるるわが<sup>ら</sup>しつちさくしを<sup>ら</sup>あ  
 又ちまもちぞとらふところをわめふあさませ。モシこけ入  
 三指即又むくづつこんでくる<sup>ト</sup>が<sup>ら</sup>あはれ<sup>る</sup>人<sup>た</sup>ま<sup>は</sup>し<sup>や</sup>作<sup>の</sup>  
<sup>ら</sup>く<sup>ら</sup>い<sup>り</sup>て<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>ば<sup>ら</sup>よ<sup>こ</sup>一<sup>ち</sup>い<sup>れ</sup>お<sup>と</sup>を<sup>作</sup>の<sup>は</sup>ま<sup>や</sup>  
<sup>ち</sup>ら<sup>う</sup>に<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>ば<sup>ら</sup>の<sup>よ</sup>こ<sup>ら</sup>し<sup>り</sup>お<sup>と</sup>を<sup>作</sup>の<sup>は</sup>ま<sup>や</sup>  
<sup>ら</sup>ら<sup>う</sup>に<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>ば<sup>ら</sup>の<sup>よ</sup>こ<sup>ら</sup>し<sup>り</sup>お<sup>と</sup>を<sup>作</sup>の<sup>は</sup>ま<sup>や</sup>

つ<sup>ら</sup>い<sup>り</sup>て<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>ば<sup>ら</sup>の<sup>よ</sup>こ<sup>ら</sup>し<sup>り</sup>お<sup>と</sup>を<sup>作</sup>の<sup>は</sup>ま<sup>や</sup>  
 喜<sup>ぶ</sup>ら<sup>う</sup>め<sup>ふ</sup>あ<sup>は</sup>れ<sup>る</sup>人<sup>た</sup>ま<sup>は</sup>し<sup>や</sup>作<sup>の</sup>  
 ち<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>  
 お<sup>と</sup>を<sup>作</sup>の<sup>は</sup>ま<sup>や</sup>  
 て<sup>あ</sup>ま<sup>や</sup>ア<sup>ら</sup>が<sup>ら</sup>の<sup>に</sup>ツ<sup>け</sup>の<sup>ま</sup>ん<sup>中</sup>の<sup>お</sup>り<sup>や</sup>お<sup>と</sup>の<sup>け</sup>し<sup>ら</sup>な  
 ら<sup>わ</sup>ば<sup>ら</sup>の<sup>よ</sup>こ<sup>ら</sup>し<sup>り</sup>お<sup>と</sup>を<sup>作</sup>の<sup>は</sup>ま<sup>や</sup>  
 ち<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>  
 ち<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>  
 ち<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>  
 ち<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>あ<sup>ら</sup>わ<sup>げ</sup>る<sup>あ</sup>ら<sup>わ</sup>げ<sup>る</sup>



ほ

「モ」は「ろ」ちが「運」として「え」させ入ト十六爻出たが、うらひを

「た」が「う」や「ま」として「え」「リ」や「ロ」は、おまひのひやうもるん。

「ろ」は「仕」合ふこと「う」で「け」る。「い」は「い」さ。ち「れ」は「い」

「あ」うが「あ」うや「ま」「い」「ま」や「あ」う「ま」の「ま」。卦の「押」の卦「押」を

「え」「ま」「ま」俗に「ま」を「別」極「後」として「ま」は「ま」うて「ま」

「ま」の「ま」。ま「ま」の「ま」が「ま」うて「ま」ま「ま」を「ま」や「ま」妙よく

「あ」う「ま」と「ま」は「ま」卦の「乾」の卦「乾」を「い」り「ま」の

「ま」ま「ま」卦の「押」と「ま」卦の「乾」と「合」として「ま」ま

「え」が「ま」ま「ま」の「易」は「乾」押「ま」の「あ」を「ま」を「ま」

卦「あ」うて「中」うて「ま」う。お「ま」ま「ま」の「ま」ま「ま」

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

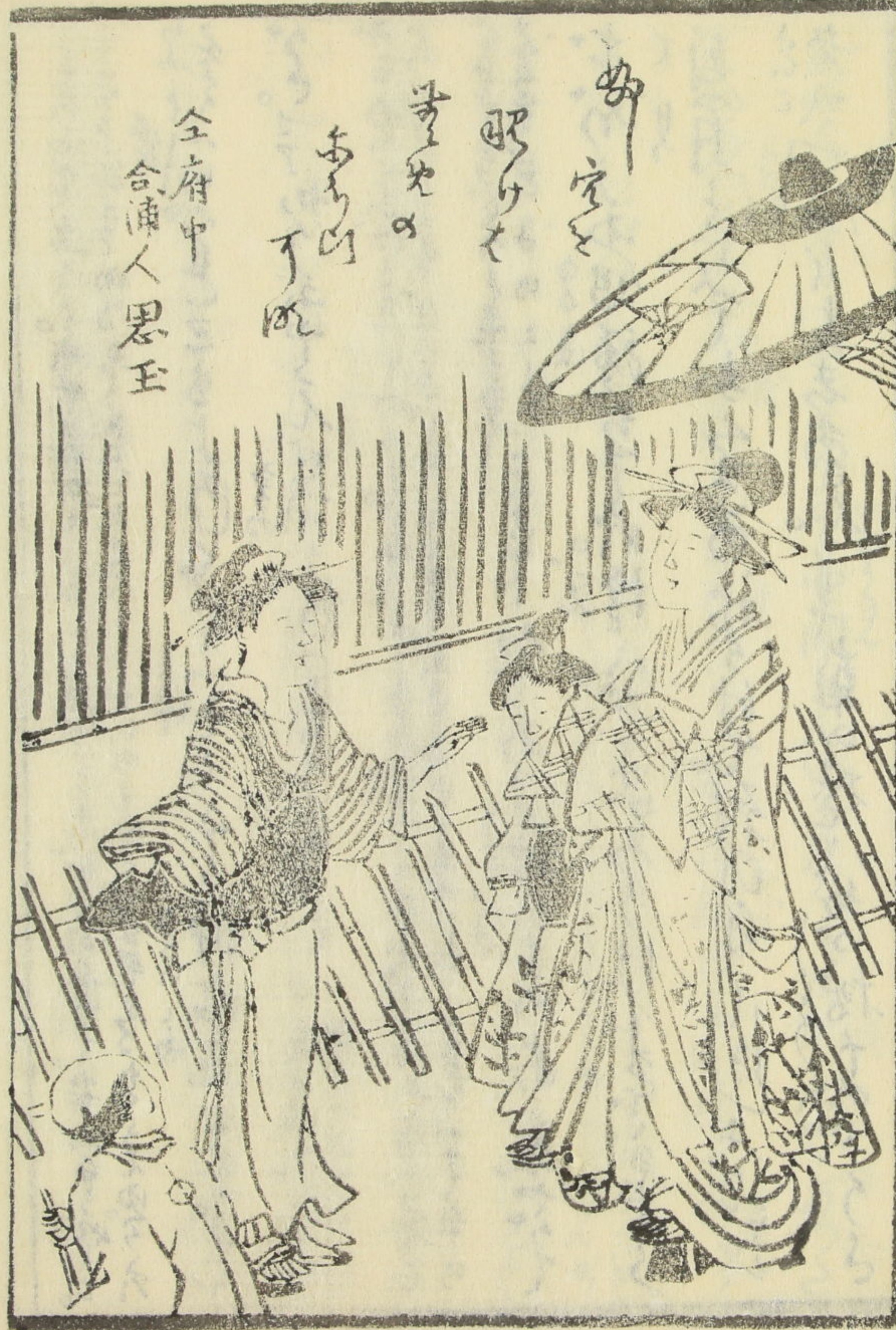
「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま「ま」ま

御









全府中  
合浦人思玉

あまの  
可成

御  
定  
那  
サ  
サ  
サ



ス方  
比  
似  
年  
ち  
喜  
の  
あ  
さ  
カ  
所

全  
玉  
河









十九年

移りて川にまゐ。世にきくはしてあまのひさし。ト云ふはあ

がらうりきうりまるとは。引んあう。海でもううやくやうし

お母さん仲のかの子まんの入引やそれもあるらうの。おまが

さらうカハとけりまそ海をううあやアをいまう移入海ぞ

鳴あう。そのうち入まのぞくまやア移入仲のあんのまあ。

サア おひらうおわづらませ。おん。おまをうう。あううあ

せんうのうト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ

あんのま。ト仲のぞもい入まう海をいひまう。いひまうとあうせ











ともしくしらすと出つけたるよきものなりおろしきとてさつめりぬるものなり世の目録  
をぞひききしむるひをきしてあらう物なるよしをいへやとてありてはよきものなり

換料のまじりのものかへきままで

かりてみらうのよきものなり

十の字みきりてあらうものなり

借りてみるものなり

がきぬらうのよきものなり

道中膝栗毛八編中巻終

